

## 4 視覚障害教育情報ネットワークの利用概況

金子 健・大内 進

(独立行政法人国立特殊教育総合研究所)

### (1) 加入校数(2003年1月31日現在)

当ネットへの加入校数は、68校であり、これは全盲学校数70(注1)のうちの、97.1%にあたる。

注1:

当ネットでは、全盲学校数71のうち、京都府立盲学校舞鶴分校を京都府立盲学校に含めて数えているので全70校になる。

### (2) データの種類と数(2003年1月31日現在)

#### 1) BES形式点字文書について

当ネットの旧パソコン通信システム開設以来、現在までで蓄積されたBES形式文書のタイトル総数は、42,971であり、そのうち、盲学校がアップロードしたものは、498タイトル、ない-ぶネット提供のものは、42,473タイトルである。

#### 2) なんでもデータバンクについて

このデータベースでのデータ総数および、その内訳は表1のとおりである。これは、2001年5月に、このデータベースが開設されて以来、2003年1月31日までの数字である。

このように、このデータベースにおいては、すでに、総数876という多数のデータが集積されている。

表1 なんでもデータバンクのデータ数

データの種類	データ数
BASE形式の点字文書	23
BES形式の点字文書	60
エーデル形式の点図データ	759
コータクン形式の点字文書	6
立体コピーの原図(PDF形式)	3
テキスト形式の文書	2
画像データ	1
音声(録音)データ	6
動画	1
ツール(フリーソフトウェア)	5
計	876

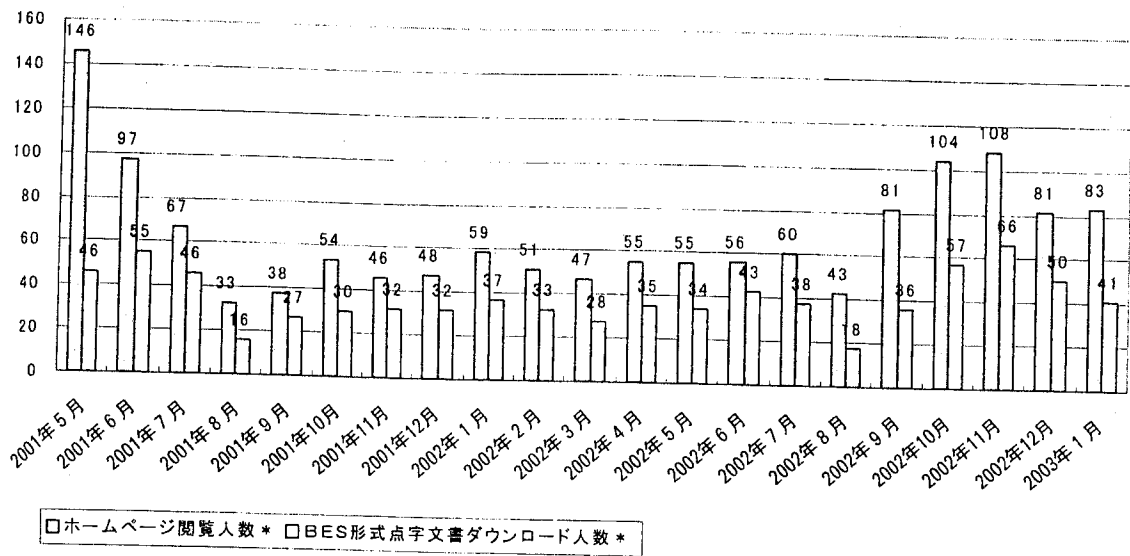


図1 当ネットの利用頻度 - ホームページ閲覧ページ数と BES 形式点字文書ダウンロード人数

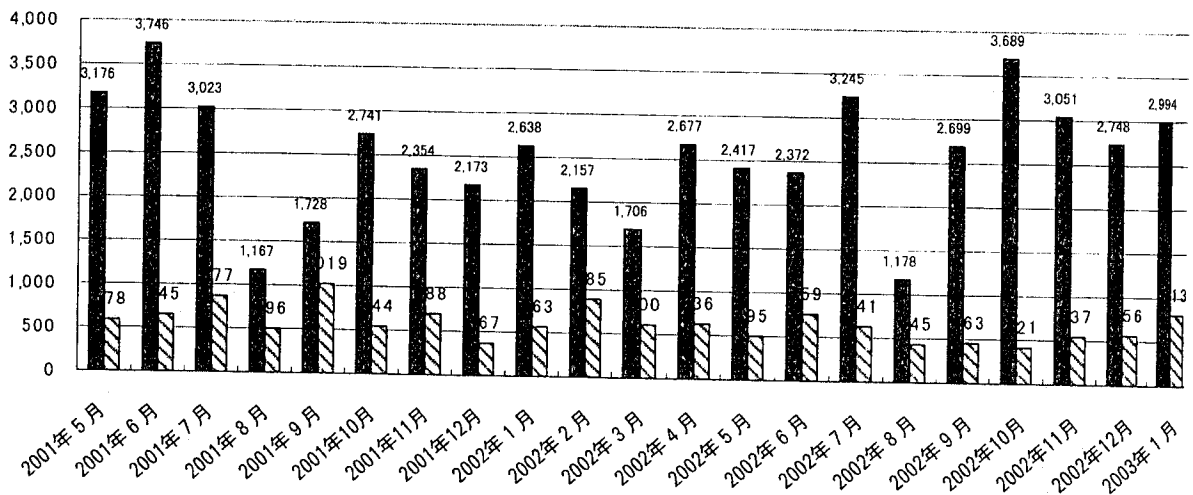


図2 月毎のホームページの閲覧ページ総数と BES 形式点字文書のダウンロードタイトル総数

この中で、エーデル形式の点図データが多数あるのは、「点字絵本の会」(そのアドレス: <http://www.infoeddy.ne.jp/kitajima/circle/tenji/>) というボランティアグループが作成していた大量のデータを、ある盲学校を通じて一括してアップロードしたためである。

### 3. 当ネットの利用頻度 (2003年1月31日現在)

当ネットの利用頻度に関して、ホームページへのアクセスと、BES形式の点字文書データのダウンロードについてみると、グラフ1および、グラフ2のとおりである。

図1は、インターネットシステム開設以来の月毎のホームページ閲覧人数と、BES形式点字文書のダウンロード利用人数を表している。

このように、当ネットインターネットシステム開設当時の2001年5月から2003年1月現在まで、当ネットは各月ともコンスタントに使用されており、月平均では、ホームページの閲覧人数が67人(注2)、その閲覧総ページ数が2,556、BES形式点字文書のダウンロー

ド利用人数が 38 人(注 2)、そのダウンロード総数が 620 になる。

ここで、当ネット旧パソコン通信版の 1999 年度 1 年間の同データダウンロード総数は 1,009、月平均 84 であり、同旧パソコン通信版の 2000 年度 1 年間のそれは 654、月平均 55 である。方、新インターネットシステムで、2001 年 5 月から 1 年間の同データダウンロード総数を求めてみると 7,898 であり、月平均では 658 である。この比較からインターネットによる新システムになってから、点字データダウンロードについての利用頻度が高まったといえる。

注 2:

それぞれの人数は、のべ人数ではなく、ID ごとの数である。

即ち、各校 6 個ある ID のうち、各月において異なる ID がいくつ使用されたかを示している